

2020年5月28日

衆院憲法審査会

国民投票法の早期採決主張 衆院憲法審、今国会で初開催— 自民

時事通信 2020年05月28日 11時50分



今国会で初めて開かれた衆院憲法審査会＝28日午前、国会内

衆院憲法審査会は28日午前、憲法改正手続きを定めた国民投票法改正案をめぐる自由討議を行った。自民党の新藤義孝氏は、改正案を速やかに採決した上で国民投票実施に当たってのCM規制について議論すべきだと主張。さらに新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、「本会議の定足数や国会議員の任期に関する議論が早急に必要だ」と訴えた。審査会開催は今国会で初めて。

これに対し、立憲民主党の山花郁夫氏はCMの多寡が投票結果に影響を及ぼす可能性がある」と指摘し、ネット広告のルールづくりが必要だと強調。「国民投票法改正では公正さを担保する議論を併せて行うことを求める」と述べ、早期採決に慎重な姿勢を示した。

公明党の北側一雄氏は改正案について「速やかに成立を図るのが国会の責任だ」と述べた。CM規制については、政党側の自主規制で対応すべきだとの認識を示した。

共産党の赤嶺政賢氏は採決に反対の立場を改めて表明。日本維新の会の馬場伸幸氏は緊急事態条項の創設を議論するよう求めた。

自民、国民投票の早期採決を要求 立民「政党CM規制の議論を」

2020/5/28 11:37 (JST)5/28 11:39 (JST)updated 共同通信社



衆院憲法審査会で発言する与党筆頭幹事の新藤義孝氏（左から3人目）。左端は野党筆頭幹事の山花郁夫氏＝28日午前

衆院憲法審査会は28日午前、憲法改正手続きを定めた国民投票法をテーマに自由討議を行った。与党筆頭幹事の新藤義孝氏（自民党）は国会提出から2年近く経過した同法改正案について「早急に質疑、採決して結論を得るのは当然のことだ」と早期採決を求めた。野党筆頭幹事の山花郁夫氏（立憲民主党）は、国民投票時の政党CM規制について「資金量の多寡によって結果に影響を与える恐れがある」として、議論を深める必要性を指摘した。審査会の開催は今国会で初。

改正案は、自民、公明両党などが2018年6月に国会提出し、翌月に提案理由説明を行ったが、質疑は一度も実施されていない。

衆院憲法審査会、今国会初の開催 国民投票法改正案とCM規制巡り議論は平行線

毎日新聞 2020年5月28日 11時52分(最終更新 5月28日 11時52分)



衆院憲法審査会に臨む与野党の議員ら。中央は佐藤勉会長＝国会内で2020年5月28日午前9時31分、竹内幹撮影

衆院憲法審査会が28日午前、今国会で初めて開かれ、「憲法改正国民投票法を巡る諸問題」をテーマに自由討議を行った。自民党は洋上投票の対象拡大など7項目の国民投票法改正案の早期採決に向けた理解を求めたが、野党側は国民投票におけるCM規制も並行審議すべきだと主張し、議論は平行線をたどった。

自民の新藤義孝氏は「CM規制を議論することは私たちも同意している。国民投票法改正案の審議に決着をつけた後、即座に議論に入る」として、野党側に理解を求めた。一方、立憲民主党の山花郁夫氏は「ルール公正さを担保する議論を併せて行うことを求める」と、議論を深める必要があると訴えた。

これに先立つ幹事会で、与党側は来週の審査会開会を提案したが、野党側が回答を保留した。引き続き与野党の筆頭幹事間で協議する。

自民は国民投票法改正案の早期成立を目指す。安倍政権下の改憲を警戒する野党側が応じていない。21日の幹事懇談会で、与党筆頭幹事の新藤氏が「採決ありきではない」と野党側に配慮を示したことで、法案審議ではなく自由討議形式での開催にこぎつけていた。【遠藤修平】

衆院憲法審査会 国民投票法めぐり自由討議 今の国会で初開催

NHK5月28日 12時13分



衆議院の憲法審査会が今の国会で初めて開かれ、国民投票法をめぐる自由討議が行われました。与党側は、継続審議になっている国民投票法改正案を早期に採決するよう求めたのに対し、野党側は、国民投票に伴うテレビ広告などの規制について優先的に議論すべきだと主張しました。

今の国会で初めて開かれた衆議院憲法審査会では、憲法改正の手続きを定めた国民投票法をめぐる、与野党の議員によ

る自由討議が行われました。

この中で、与党側の筆頭幹事を務める自民党の新藤元総務大臣は、継続審議になっている国民投票法の改正案について、

「早急に質疑・採決を行い、結論を得るのは当然のことだ。政局から離れ、国民のための憲法論議を深めるといふ審査会の責任が果たされるよう努力していきたい」と述べ、早期の採決を求めました。

一方、野党側の筆頭幹事を務める立憲民主党の山花憲法調査会長は、国民投票に伴うテレビ広告などの規制について、「賛成派と反対派の資金量の多寡によって、国民投票の結果に影響が出るおそれがある。国民投票法の改正にあたっては、公正さを担保する議論を行うことを求めている」と述べました。

また、公明党の北側憲法調査会長は、国民投票法改正案の速やかな成立を求める一方、広告の規制については各党による自主規制が望ましいとして、審査会に検討委員会を設置して協議すべきだと提案しました。

これに先立つ幹事会で、与党側が来週再び審査会を開きたいと提案したのに対し、野党側は、28日の議論の結果を見極めたいなどとして折り合わず、引き続き協議することになりました。

今年初の憲法審査会 “国民投票” で与野党に隔たり

ANN2020/05/28 12:00

国会では今年初めてとなる衆議院の憲法審査会が開かれ、国民投票法などについて与野党が意見を述べ合いましたが、温度差が改めて浮き彫りになりました。

自民党・新藤衆院議員：「すでに2年前、与野党合意のうえで円満に改正案の趣旨説明、質疑が行われている。これを早急に質疑採決を行い、結論を得ることは当然のことです」

立憲民主党・山花衆院議員：「国民投票法の改正にあたっては、その公正さを担保する議論を合わせて行うことを私たちは求めています」

これまで立憲民主党は国民投票の際にテレビやインターネットのCM規制が不十分だと主張していて、山花氏は「賛成派と反対派の資金で国民投票に影響が出る」と懸念を表明しました。また、公明党の北側氏はCM規制のルールについて検討委員会を設け、政党間の協議を行うべきだと提案しました。国民投票法改正案の採決を巡って与野党の隔たりが大きく、憲法改正の中身の議論に入る見通しは立っていません。

今国会初の憲法審「国民投票法改正案」議論

NNN2020年5月28日 12:17

衆議院の憲法審査会が今の国会で初めて開催されました。6国会にわたって継続審議となっている国民投票法改正案の採決などについて、各党が意見を交わしました。

国民投票法の改正案をめぐるのは、自民党・公明党・日本維新の会などが、「審議が尽くされた」として質疑・採決を行うことを求めたのに対し、立憲民主党などは、まず、テレビなどのCM規制の議論を行うべきと主張しました。

自民党・新藤義孝議員「円満に改正案の趣旨説明が行われているわけですから、これを早急に質疑採決を行い、結論を得ることは当然のことです」

立憲民主党・山花郁夫議員「国民投票法の改正にあたっては、その公正さを担保する議論を合わせて行うことを私たちは求めています」

また、自民党の新藤議員は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、どのような状況でも国会の機能を確保するため、国会議員の任期などについて早急な議論を求めました。

なお、共産党はそもそも憲法審査会を開くべきではないと主張し、社民党は国民投票法改正案に反対しています。

今国会初の衆院憲法審始まる 国民投票テーマに自由討議

産経新聞 2020.5.28 09:34

衆院憲法審査会が28日午前、始まった。憲法改正手続きを定めた国民投票法をテーマに自由討議を行う。新型コロナウイルス対応や野党の慎重姿勢もあって審査会の開催は今国会初めて。国会提出から2年近く経過した同法改正案や国民投票時の政党CM規制の在り方に関し、与野党が見解を示す。

冒頭、与党筆頭幹事の新藤義孝氏（自民党）や野党筆頭幹事の山花郁夫氏（立憲民主党）ら各会派の代表者が意見を述べる。

改正案は共通投票所設置など投票の利便性を公選法にそろえる内容。自民、公明両党などが平成30年6月に国会提出し、翌月に提案理由説明を行ったが、質疑は一度も実施されていない。